

他県（市）の拠点文化施設が担っている機能等の例

施設名称（設置者）	ホール規模(席数)	主な機能（各施設の運営計画・施設計画より）	施設構成
県・市連携文化施設 （仮称）（秋田県・秋 田市）※H33竣工予定	高機能型ホール （2000）、舞台芸 術型ホール（800）	▶音響効果に優れたホールと高質な劇場空間を併せ持ち、舞台の狭小、設備の劣化・陳腐化、楽屋不足等の問題を解決し、大掛かりな演目にも対応する施設とする。 ▶「文化創造」、「文化に触れる機会の充実」、「人が交流する『場』の創出」の役割を果たすため、次の5つの機能を有する施設とする→「文化創造の機能」、「発表・鑑賞機能」、「コンベンション機能」、「にぎわい創出機能」、「情報の提供、発信機能」	高機能型ホール、舞台芸術型ホール、多目的スペース、制作・打合せ室、研修・会議室 ほか
山形県総合文化芸術館 （山形県） ※H31.9.15竣工予定	大ホール （2001）	▶山形の文化を育む文化・芸術活動の拠点。 ▶芸術性の高い全国規模の公演や商業公演の鑑賞できる施設。 ▶全国規模イベント等の開催により交流を生み出す、次世代を担う子供たちの豊かな芸術性を育み、文化に関わる多様な人材育成に資する施設。 ▶伝統芸能、伝承文化の発表及び鑑賞を通し、理解の深化、普及・継承に寄与する施設。	大ホール、スタジオ2室（音楽用、演劇・舞踊用）、県産品ショップ、産直レストラン ほか
彩の国さいたま芸術劇場（埼玉県） 【H6.10.15開館】	大ホール（776）、音楽ホール（604）、小ホール（266）等	▶全ての県民が参加できる舞台芸術の総合施設、舞台芸術の在り方を先駆け、発信する大規模装置、文化創造のインキュベーター。 ▶情報センター：劇場の頭脳中枢：県民に広く舞台芸術に関わる情報を提供する。 ▶公演スペース：中規模ホール群：利用目的に適した専用ホールを組み合わせ、高度な舞台芸術の鑑賞・発表の場として使いやすいものとする。 ▶創造スペース：稽古場、倉庫等：県民の創造活動に供する目的で設置し、各舞台芸術創造の場として公演スペースと同等の位置づけとする。	大ホール、音楽ホール、小ホール、映像ホール、大中小稽古場、舞台芸術資料室 ほか
静岡県コンベンションアーツセンター・グランシップ（静岡県） 【H11.3.13開館】	大ホール・アリーナ（4626）、中ホール（879～951）	▶文化・芸術活動の拠点機能：「優れた舞台芸術の創造と公演」、「生活に根差した芸術文化の普及」、「県民の文化活動の基盤づくり」を図る。 ▶国際交流・情報発信機能：「舞台芸術による交流と情報発信」、「国際会議による交流と情報発信」の両面の実現を実現する。 ▶ネットワーク機能：「県内文化施設との間」、「東海道をルートにした」、「国内コンベンション施設」とのネットワーク形成、また、都市開発の要として県全体の文化、経済の活性化につながる賑わいを創り出す。	大ホール、中ホール、国際会議場・展示場、静岡芸術劇場（舞台芸術専門施設）
三重県総合文化センター（三重県） 【H6.10.7開館】	大ホール（1903）、中ホール（968）、小ホール（約300）等	▶芸術に触れる場：より多くの県民が本格的な舞台芸術作品に触れられるよう、様々な分野にわたる質の高い舞台芸術作品や先進的な作品を紹介する。 ▶創造・発表する場：アマチュアの創作活動の制作指導を積極的に行うなど、県民の自発的な創造活動を支援し、参加意欲の高揚を目指す。 ▶知る・知らせる場：県内外の文化活動の紹介や施設のイベント情報等を提供し、文化芸術に対する県民の理解と興味を喚起する場とする。 ▶交流する場：交流活動の場とするほか、県内の各施設や活動をネットワーク化し、情報交換や合同企画を展開、県の文化活動の拠点的作用を担う。	大ホール、中ホール、小ホール、多目的ホール、文化情報コーナー、大中小会議室 ほか
滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール（滋賀県） 【H10.9.5開館】	大ホール（1848）、中ホール（804）、小ホール（323）	▶すぐれた舞台芸術の上演：一流の芸術公演の招致、舞台芸術フェスティバルなど世界に情報発信できる事業。 ▶舞台芸術の振興：すぐれた県内後援団体の発掘顕彰とそれを通じてのレジデント公演団体の育成、舞台芸術に関する専門的な情報提供。 ▶参加型舞台芸術活動の振興：県内文化団体等への発表・練習の場の提供、県民や文化団体への情報提供や相談助言機能、舞台芸術研修機能。 ▶舞台芸術の普及（サロンの提供等）、舞台芸術を通じた交流促進（プロ・アマ交流等）、中央館としての機能（県下文化会館への助言等）。	大ホール、中ホール、小ホール、リハーサル室、練習室、舞台芸術サロン ほか
兵庫県立芸術文化センター（兵庫県） 【H17.10.22開館】	大ホール（2001）、中ホール（800）、小ホール（417）	▶上演：質の高いパフォーマンス・アーツの自主計画・自主制作による上演を行い、センターの情報発信性の中心的役割を果たす。 ▶展示：上演機能と関連した展示を行い、複合的文化施設としての賑わいや楽しみを醸し出すギャラリー的な機能を持つ。 ▶広報組織、マスメディアとの連携体制や県下文化施設とのネットワークを整え、県民等との日常的な接点として気軽な来館、利用を促進する。	大ホール、中ホール、小ホール、リハーサル室、スタジオ、展示スペース ほか
さっぽろ創世スクエア<札幌市民交流プラザ>（札幌市） 【H30.10.7開館】	札幌文化劇場（2300）、スタジオ（最大400）等	▶高機能ホール：高水準かつ大規模な舞台芸術をはじめとする、様々な分野の公演が可能な場を創り出し、札幌の舞台芸術の振興、質の向上を図る。 ▶アートセンター：札幌の文化芸術資産（ひと・もの・こと）を活かすマネジメントや、それを担う人材の育成、アーティストの活動支援、市民等への文化芸術情報の提供等を通して、札幌の文化芸術を支え、育てる。 ▶貸館をより能動的な貸館事業とし、施設の貸し出しのみならず、ホールスタッフのノウハウも提供し、より充実した発表を支援する。	札幌文化劇場、クリエイティブスタジオ、オープンスタジオ、市図書・情報館 ほか
フェニーチェ堺（堺市） ※H31.2.20竣工	大ホール（2000）、小ホール（312）	▶文化的環境の充実：（前身の）市民会館が担ってきた多様な文化芸術を創造・発表する環境を充実・発展させる。 ▶まちづくりの視点：市民主体の文化芸術活動や多彩な文化芸術公演等を通じて周辺地域とも協力し、多様な交流やまちの賑わい創出に寄与する。 ▶市民との協働の促進：文化芸術に対する関心・意欲を高め、市民の参加を促進。また、多様な参加形態による市民との協働・連携を図る。	大ホール（多機能）、小ホール（多目的）、文化交流室、大小スタジオ、交流・創作ギャラリー ほか
熊本城ホール（熊本市） ※H31.夏竣工予定	メインホール（2300）、多目的ホール（可動300、仮設450）等	▶3000人規模のコンベンションを単独で開催できる施設：既存施設と連携し、MICE推進地区で5000人規模の学会、大会にも対応する。 ▶ホールツアーコンサート会場として利用できる施設：2000席規模のホールツアーコンサートにも対応できる固定堰のメインホールを整備する。 ▶街中の展示会需要にこたえる施設：まちの賑わいを生み出すような様々なイベントや展示会を実施できるイベント・展示ホールを整備する。	メインホール、大中小会議室、シビックホール（多目的）、イベント・展示ホール

（出典：宮城県民会館需要調査業務報告書）